

県民の森 花ごよみ 8月号

～今月はこんな花(実)が見られます～



ワレモコウ

日当たりの良い草地に生える多年草。7～10月に楕円形の赤紫の花序をつけ、花は上から下へ咲いてゆく。名前の由来ははっきりしない。(バラ科)



センニンソウ

日当たりのよいところに生えるつる性の木質性草本。花が終わると花柱がのび、白くて長い毛が密生する。仙人の毛にたとえたとか、白髪にたとえたとかいわれる。茎や葉に皮ふにかぶれを起こす有毒物質を含む。薬用とする。(キンポウゲ科)



クサギ

枝や葉をちぎると強い臭気があることから名付けられた。10～11月に熟す藍色の果実も美しい。落葉小高木。(シソ科)



オミナエシ

秋の七草のひとつ。葉を生干しにしたり、生け花にしたものは切り口から悪臭を出す。根茎は横にはい、株のそばで新苗をつくってふえる。(スイカズラ科)



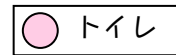
ノハラアザミ

ノアザミに良く似ているが、初夏にかけて咲くのはノアザミ。ノアザミは総苞(そうほう)が粘るが、ノハラアザミは粘らない。花期:8月～10月(キク科)



キツネノマゴ

道ばたなどにふつうに見られる高さ10～40cmの一年草。(キツネノマゴ科)



トイレ

モデルコース:歩いて約90分



植物園

森のカルチャーセンター

駐車場

ツルボ



別名:サンダイガサ
高さ20～40cmの多年草。ツルボの語源は不明。別名の参内傘とは、公家が参内するとき従者がさしかけた長い柄の傘をたんだ形と花序が似ていることによる。(クサスギカズラ科)

ヨウシュヤマゴボウ



北アメリカ原産の多年草で、明治初期に渡来した。高さ1～2mになる。根はゴボウに似ているが有毒。果実は黒紫色に熟し、つぶすと紅紫色の汁がでる(実も有毒)。(ヤマゴボウ科)

ヤマハギ



高さ1～2m。日本の山野にふつうにみられるハギ。秋に黄葉する。(マメ科)

コマツナギ



高さ40～80cmの草本状の小低木。名は、茎は細いが馬をつなげるほど丈夫なことによる。日当たりがよく、やや乾いたところに群生する。(ニホキ科)

ヤブラン

庭や公園などに下草としてよく植えられている。山野の木陰に生える多年草。花茎(かけい)は高さ30～50cm。(クサスギカズラ科)(キジカクシ科)

